

# 読

Yomiuri  
Nippon  
Symphony  
Orchestra

# 響

指揮  
**鈴木 雅明**

Conductor= MASAOKI SUZUKI

バイエルン放送響など著名楽団と共演し、  
古典派音楽で高い評価を得る世界的名匠

オルガン  
**鈴木 優人**

Organ= MASATO SUZUKI

オルガン奏者としては、読響と初共演！  
マルチな才能で新時代を切り拓く音楽家

鈴木雅明が振る

# 情熱の「イタリア」

& 鈴木優人と親子共演！

**C.P.E.バッハ：シンフォニア** 二長調 Wq.183/1

C.P.E. BACH: Sinfonia in D major, Wq.183/1

**プーランク：オルガン協奏曲** ト短調

POULENC: Organ Concerto in G minor

**メンデルスゾーン：交響曲第4番** イ長調 作品90 「イタリア」

MENDELSSOHN: Symphony No. 4 in A major, op. 90 "Italian"

読売日本交響楽団  
第240回 土曜マチネーシリーズ

2021 **9.18** 〈土〉 14:00

東京芸術劇場

S¥7,600 A¥5,600

B¥4,600 C¥4,100

Saturday Matinée Series No. 240

Sat. 18 Sep. 2021, 14:00

Tokyo Metropolitan Theatre

読売日本交響楽団  
第240回 日曜マチネーシリーズ

2021 **9.19** 〈日〉 14:00

東京芸術劇場

S¥7,600 A¥5,600

B¥4,600 C¥4,100

Sunday Matinée Series No. 240

Sun. 19 Sep. 2021, 14:00

Tokyo Metropolitan Theatre

読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時~18時・年中無休)

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

助成：文化庁文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

共催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場

©Marco Borggreve

# 世界的名匠が振る華麗なる「イタリア」 オルガン協奏曲で、白熱の“親子共演”



鈴木 雅明(指揮)

バッハ演奏の第一人者として名声を博す巨匠。1990年にバッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)を創設。近年は海外のパロック・アンサンブルへの客演に加え、ニューヨーク・フィル、バイエルン放送響などの楽団を指揮し、活躍の場を国際的に広げている。スウェーデンBISレーベルからCDを多数リリース、特にBCJ「バッハ：教会カンタータ・シリーズ」は、数少ない全曲録音として世界的に注目を集めている。紫綬褒章、サントリー音楽賞、バッハ・メダルなど多数受賞。現在、イェール大学アーティスト・イン・レジデンス、東京芸術大学名誉教授などを務める。読響とは2000年のバッハ「マタイ受難曲」(メンデルスゾーン版)、18年のメンデルスゾーン作品などで好評を博し、今年7月のミュゼ・ザ・川崎でのロシア・プログラムも話題を呼んだ。

©Marco Borggreve



鈴木 優人(オルガン)

マルチな才能で新時代を切り拓く俊英。2020年4月から読響指揮者/クリエイティブ・パートナー。東京芸術大学及び同大学院修了。オランダ・ハーグ王立音楽院修了。指揮者として国内外の楽団と共演するほか、ピアノやチェンバロ、オルガンなど鍵盤楽器奏者としても活躍している。13年から調布国際音楽祭のエグゼクティブ・プロデューサー。18年にバッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)首席指揮者に就任。BCJオペラシリーズのプロデュースを務め、20年のヘンデル：歌劇「リナルド」などバロック・オペラの新機軸として高く評価され多くの話題を呼んだ。NHK-FM「古楽の楽しみ」にレギュラー出演中。齋藤秀雄メモリアル基金賞など受賞多数。今年3月に芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞した。

©Marco Borggreve

9月の《土曜・日曜マチネーシリーズ》は、鈴木雅明・優人親子と読響の特別な共演が実現。バッハ・コレギウム・ジャパンを率いる世界的指揮者・鈴木雅明が、歯切れの良いタクトで読響から透明感あるサウンドを引き出します。息子・優人は、読響の指揮者/クリエイティブ・パートナーとしても大活躍中。今回はオルガンのソリストとして、親子ならではの息の合った共演で新たな魅力を発揮するでしょう。

プログラムは、古楽からモダン・オーケストラまで多彩なレパートリーをこなす鈴木雅明ならではの曲目が並びました。幕開けはJ.S.バッハの次男、C.P.E.バッハのシンフォニア。古典派のスペシャリストとして名高いマエストロが、快活なテンポ感で推進力のある音楽を作り上げるでしょう。メインは、メンデルスゾーンの交響曲「イ

タリア」。メンデルスゾーンがイタリア旅行中に着想を得て書き始め、明暗のはっきりとした曲調に仕上げました。冒頭から華やかなメロディが弾け、終楽章では疾走するリズムが痛快さを生み出します。鈴木雅明はメンデルスゾーンについて「バッハと特別なつながりを感じる」と語り、蘇演版の「マタイ受難曲」や宗教曲を取り上げるなど、度々この作曲家に光をあててきました。“バッハの権威”としてメンデルスゾーン作品にも力を注ぐ彼が、傑作交響曲をどのように描き出すのか、期待が高まります。

前半は、息子・優人が登場してプーランクのオルガン協奏曲をお届けします。弦楽とティンパニ、そしてオルガンの三つ巴がスリリングな展開を生み出します。優人は東京芸術劇場の巨大なパイプオルガンを巧みに弾きこなし、煌びやかな音色を作りあげてください。「オルガンの魅力は“振動”が直に伝わるところ」と語る優人。会場全体が楽器となる迫力を全身でご体感ください。鈴木親子×読響が繰り広げる白熱の競演をどうぞお楽しみに。

読売日本交響楽団 第240回 土曜マチネーシリーズ

2021年 9月18日(土) 14時開演  
S¥7,600 A¥5,600 B¥4,600 C¥4,100

読売日本交響楽団 第240回 日曜マチネーシリーズ

2021年 9月19日(日) 14時開演  
S¥7,600 A¥5,600 B¥4,600 C¥4,100

東京芸術劇場コンサートホール

東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111  
●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ池袋駅西口より徒歩2分  
(\*駅地下通路2b出口と直結しています)

【託児サービス】東京芸術劇場には一時託児サービスがあります(公演1週間前までに予約)。株式会社ミラクス ミラクスシッター 0120-415-306(予約受付:平日9時-17時) **【学生券】**学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。■マスク着用など、読響の「感染予防対策」にご協力をお願いします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

\*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyoku.pia.jp/>

\*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド

チケットぴあ 0570-02-9999

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296